

3月金属課ヒアリング

メーカー値上げだが転嫁未達で推移

3月15日（水）午後1時30分より経済産業省内で金属課ヒアリングが開催された。席上、全鉄連の阪上会長は「1～3月の条鋼建材品種の荷動きがやや悪く、前年割れの動きとなっている。鉄筋の新規成約は超低調だが、先週のスクラップ反騰でゼネコン、下店からの発注、打診が増えている。H形鋼は2月が非常な低水準だった。前期の反動と思われる。薄板は前年比、前期比ともプラスで推移している。コラムには先高感による仮需が出ている。鋼管も若干仮需が発生しているが、4～6月は前期比多少の減少と思う。関西地区での一般形鋼が長期低落傾向にあり、気がかりだ。全般的には悪くも良くもない状況で、在庫が増加気味だが、過剰感はない」と景況感を述べ流通の課題として「メーカー値上げが実行されてい

るが、転嫁未達であるなか、更なる値上げが控えている。なんとしても転嫁を完遂しなければならない。物件単位での発注がメーカーに直接入り、店売りでの調達に縮小されている。これにより発注の振幅が大きくなり、平準化が図れなくなっている」と述べた。

一方、金属課からは新日鐵住金大分の事故の影響について質問があった。これに対し、全鉄連からは「影響なし、それにより需給が逼迫していない」との見解であった。また、ミルシート取り扱いについては、掛かる経費が販売側の負担となり、サービス化している実態は改善すべきであるとしているが、全鉄連としてこの課題にどのように関与していくか、金属課としても適切な助言していきたいとのことだった。

流動調査2月実績

1月、2月と販売低水準、在庫は増加

2月実績では前月比で仕入増加、販売微増、前年比では仕入は4カ月振りに下回り、販売は2ヶ月連続減少している。在庫は前月比3カ月連続増加、前年比では昨年5月以来10カ月連続減少となったが、減少幅は減る傾向にある。2月は暦の関係で稼働日数が少ないため販売減となるが、1月に続き販売実績17万トン台は、足元の荷動きの悪さを現しているとも言える。在庫率は販売微増、在庫増加により128.1ポイントと前月に続き上昇した。品種別に見ると仕入では前月比でコラム、C形鋼以外増加し、前年比では異形棒鋼、C形鋼以外増加している。販売では前月比でコラム

が著減、溝形鋼が減少、それ以外の品種は増加しているが、増加幅は低い。前年比ではコラム、C形鋼が共に微増、その他の品種は減少している。在庫は前月比で異形棒鋼以外の品種が増加。特にH形鋼は1割以上の増加となっている。前年比では異形棒鋼、溝形鋼が共に微増、コラムが増加、C形鋼は微減、山形鋼、H形鋼が減少している。ときわ会2月末在庫では199,700トン、前月比+7.5%と3カ月連続増加している。1月帳破明け以降、先細り商況が2月になっても続いており、需要増加の実感はない。

（注）①調査開始、昭和48年4月。②調査対象企業 東京31、大阪21、愛知15、計67社。③平成12年4月、本調査の対象品種見直しを行い、プレーン、不等辺、I形鋼、デッキ・キーストンを除外し、コラムを追加した。

（単位：トン、%）

	仕入量	前月比	前年比	販売量	前月比	前年比	在庫量	前月比	前年比
異形棒鋼	75,261	100.5	97.1	76,125	101.1	97.7	18,389	95.5	100.4
山形鋼	24,848	100.3	101.9	24,111	101.3	93.0	49,905	101.5	97.9
溝形鋼	17,806	104.3	101.2	16,032	95.8	93.7	33,235	105.6	100.7
H形鋼	59,106	105.1	100.3	49,812	101.5	91.7	92,259	111.2	94.7
コラム	8,474	96.8	106.8	7,217	88.1	100.8	25,047	105.3	101.4
C形鋼	5,664	96.4	88.8	5,384	100.1	100.8	9,998	102.9	99.6
合計	191,159	101.9	96.2	178,681	100.1	95.1	228,833	105.8	97.6

3月業況アンケート結果 堅調な市場動向、収益性も維持

多くのみなさまの声を反映するためアンケート調査にご協力を！

この調査は全鉄連理事・幹事会社151社を対象に毎月実施している。数量調査ではないが、鋼材市場の現状が結果に現れている。回答60社(39.7%) *DI=A×2+B×1-D×1-E×2

問1 2月の売上数量・金額の前年同月比

	A10%以上増	B5%以上増	Cほぼ横ばい	D5%以上減	E10%以上減	計・DI	前回実績
売上数量(%)	7(12%)	7(12%)	29(48%)	10(16%)	7(12%)	60-5	63-2
売上金額(%)	7(12%)	7(12%)	28(46%)	12(20%)	6(10%)	60-5	63+16

数量、売上金額とも微減。1月帳破明けからの停滞感を引きずり、商況一服。

問2 2月の企業収益状況

	A黒字	B若干黒字	C収支トントン	D若干赤字	E赤字	計・DI	前回実績
収益状況(%)	13(22%)	25(42%)	11(18%)	9(15%)	2(3%)	60+63	63+54

前年2月のDIは+28、前々年は+31であった。収益面での改善は維持されている。

問3 3月販売量の前月比

	Aかなり増加	Bやや増加	Cほぼ横ばい	Dやや減少	E減少	計・DI	前回実績
公共建設	1	9	22	12	3	47-15	46-11
民間建設		13	22	1	1	37-4	54-4
自動車		5	23	2		30+10	31-3
その他需要家	1	10	31	13		54-2	54-4
仲間取引		7	27	15		49-16	52-27
計・比率	2(1%)	44(20%)	125(57%)	43(20%)	4(2%)	218-1	237-9

建設は公共、民間とも低調。自動車はやや上向きに転ずる。

問4 4～6月の需要動向予測

	A増加	B微増	Cほぼ横ばい	D微減	E減少	計・DI	前回実績
需要動向予測		21(36%)	29(49%)	5(8%)	4(7%)	59+14	63+22

前年3月のDIは-20と期待薄感なし。今年はある程度の期待感はあるが、1月、2月と数値は減

少。来期の需要は1～3月期の微増との見極めがついてきたようだ。

各地区団体活動報告

*加盟各団体からの報告を掲載。

東京鉄鋼販売業連合会（齊藤栄一会長）

4月19日（水）20日（木）の両日、第54回鉄鋼新人・中堅社員教養講座を開催。初日は浦安鉄鋼会館において講義を聴講。翌日は新日鐵住金(株)君津製鉄所を見学。

大阪鉄鋼流通協会（阪上正章会長）

①4月8日（土）西宮カントリー倶楽部にて春季ゴルフ会を開催。

②4月14日（金）大阪鉄鋼会館で新人・若手研修会を開催。本事業は大阪鉄商組合との共催により、毎年4月に実施している。

愛知鉄鋼販売業連合会（林義隆会長）

5月16日（火）午後5時より名古屋マリオットホテルで総会を開催。その後、賛助会員を交え懇親会を行う。

東北鉄鋼販売業連合会（齋藤芳郎会長）

4月14日（金）仙台市内「パレスへいあん」

において総会を開催。同日それに先立ち第30回東北鉄連親睦ゴルフ大会を泉国際ゴルフ倶楽部で行う。

静岡県鉄鋼販売連合会（近藤千秋会長）

5月18日（木）総会を静岡市内「グランディエール・ブケトーカイ」で開催する。

三重県鉄鋼特約店組合（須藤清昭理事長）

5月12日（金）桑名市内「日の出」において総会を開催。

石川県鉄鋼会（南昭武会長）

4月5日（水）総会を金沢市内「ガーデンホテル金沢」にて開催。全鉄連・阪上会長を囲んでの座談会も併催する。

富山県鉄鋼会（井上敏夫会長）

5月14日（日）呉羽カントリークラブにおいて総会並びにゴルフコンペを行う。

（了）